



令和 7 年 7 月 4 日
海 上 保 安 庁

JICA 課題別研修(海図作製技術コース)を開講

～ 水路測量の国際認定資格を取得できます！ ～

海上保安庁では、令和 7 年 7 月 9 日～12月18日の間、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力し、アジア・アフリカで水路測量に従事する若手技術者の海図作製能力向上を目的とする研修を開催します。

本研修は、海上保安学校学生を対象とした講習を除き、国内で水路測量の国際認定資格を取得することができる唯一の研修です。

1 研修概要

本研修は 50 年を超える歴史を有するもので、昭和 46 年から（新型コロナウイルス感染症の影響により 2 回中止を経て）、今年で 53 回目の開催となります。これまでに 46 カ国から 473 名の修了生を輩出し、修了生の多くが、帰国後、各国水路当局で要職を務め活躍しています。

本研修は、海上保安学校学生を対象とした講習を除き、国内で水路測量の国際認定資格^{*1} 国際 B 級を取得することができる唯一の研修です。

今回、初めてパラオから研修生が参加するほか、本年成立した「水路測量能力向上に関する交流フレームワーク」^{*2}に基づき、シンガポールの研修生も参加します。

海上保安庁は、本研修を通じ世界の航海安全に貢献するとともに、各国との国際的な連携強化を進めていきます。

2 期 間

令和 7 年 7 月 9 日（水）～12 月 18 日（木）（主な日程は別紙参照）

3 研修参加予定者（10 カ国 10 名）

カンボジア 1 名、モルディブ 1 名、パキスタン 1 名、パラオ 1 名（新規）、フィリピン 1 名、スリランカ 1 名、ベトナム 1 名、バングラデシュ 1 名、マダガスカル 1 名、シンガポール 1 名

4 主なカリキュラム

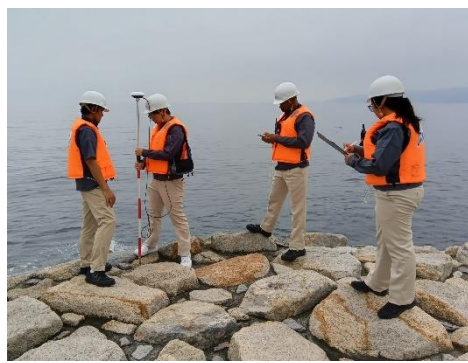
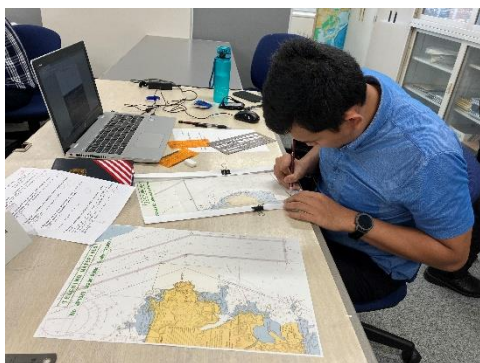
- （1）海図作製に必要な理論と実務に関する講義（測地学、潮汐、水深測量等）
- （2）海上保安庁の最新鋭測量船「平洋」による乗船実習
- （3）海図作製に必要なデータ収集のための港湾測量実習
- （4）航行安全・防災のための講義、研修旅行（地震、津波、漂流物、海流等）

○ 主な日程（予定）

実施予定日	実施予定場所	内容
7月11日（金）	海上保安庁海洋情報部	カントリーレポート発表会
10月14日（火）～11月14日（金）	大分県別府港	港湾測量実習
11月20日（木）～22日（土）	東京湾～神戸	測量船「平洋」による乗船実習
12月18日（木）	JICA 東京センター	閉講式

上記以外の期間は、海上保安庁で主に海図作製に必要な理論及び実務に関する講義を行います。

○ 令和6年度に実施した本研修（乗船実習、測量実習）の様子



※1 水路測量国際認定資格

水路測量等の国際基準を定める国際委員会（IBSC）が認定した水路測量技術者養成コースの修了者に付与される資格で、国際A級、国際B級の2つがあります。

国際B級は、水路測量を全般にわたり実施可能な実務レベルの技術者の養成を目標としており、全世界で27カ国33コースがあります（令和7年4月時点）。

※2 水路測量能力向上に関する交流フレームワーク

水路測量能力向上のためのシンガポール水路部・海上保安庁海洋情報部交流フレームワークは、シンガポール水路部と海上保安庁海洋情報部の交流を円滑に進め、両機関の水路測量技術の向上及び人材育成に資することを目的とする枠組みであり、令和7年6月2日（月）に成立しました。

【参考】

本研修を修了した各国水路当局要職経験者

研修参加年	名前	役職
1983年	Vice Admiral Charin Boonmoh	元タイ水路部長
1992年	Rear Admiral Dato' Hanafiah bin Hassan	現マレーシア水路部長
1994年	Commodore Muhammad Arshad	元パキスタン水路部長
1998年	Mr. Justo Nicholas Lyamura	元タンザニア水路測量部長
2006年	Mr. Luma-Ang Cater Sadien	現フィリピン水路部長